

発明大賞

日本発明振興協会(東京都渋谷区)栗村大吉会長 03・3464・6991)と日刊工業新聞社共催の第36回発明大賞に24件の発明が選ばれた。発明大賞は資本金10億円以下の中堅・中小企業または研究者・個人発明家のなかで発明考案・研究を通じて技術の振興・産業の発展に寄与した企業・人に贈られる。今回も53件の応募があった。産業から生活に身近な場面で利用できるものなど、さまざまな分野からの多種多様なアイデアが寄せられた。

発明大賞 本賞

少ない量でも安全に給油

操作性・安全性を向上した環境に優しい給油ノズル、ガソリンの吹きこぼれが多い発生の中で誰でも安全に給油できる機構は新規性が高い。(研究開発部基礎開発グループ係長・夏堅勇氏)



自動閉弁機構を備えており、液面が給油ノズルの先端に到達した時点で自動的に給油を停止する。この自動閉弁機構を作動させるために負圧発生機構がある。

本発明は負圧発生機構を重構造にして流速

の変化に影響されず常に負圧の発生を安定化させた。工場の小型化によつて給油停止の信頼性を向上させた。

(タジノ・メカニカル株式会社 執行役員 副社長・木村滋氏)

（タジノ・メカニカル株式会社 執行役員 副社長・木村滋氏）

（タジノ・メカニカル株式会社 執行役員 副社長・木村滋氏）